



スマイル Smile! 2020



For
Bridge Smile

認定NPO法人ブリッジフォースマイル

児童養護施設と社会をつなぐ笑顔の架け橋
祝15周年 これからも応援お願いします。

コンテンツワークス株式会社

コンテンツワークス株式会社は、2001年創業以来「感謝を創り出す」という企業理念のもと、フォトブックをはじめ「思い出」作りのお手伝いを中心に様々なサービスを提供しています。B4Sには2015年から自立支援白書の印刷などのサポートをいただいております。



代表取締役社長
荻野明彦さん
(おぎの あきひこ)

子どもたちが
社会から愛を感じられる
ようにすることが
私たち大人の務めです。

子どもが未来を信じられる社会を
作るのが大人の責任

B4Sとの関わりは、家内が次男を身ごもり6カ月目に切迫流産になりかけ、3カ月入院することになったのがきっかけです。長男はまだ幼稚園に入る前で、私は仕事もあり、近くに親戚もなく途方に暮れていたところ、区役所から児童養護施設を紹介いただき預かっていただく事になりました。そのとき初めて施設が存在と預けられている子どもたちの背景を知り、全く知らなかった社会課題がある事に驚き、決して十分とは言えない環境の中で奮闘されているスタッフの方々に感謝を受けました。このときに本当にお世話になったので、いつか何らかの形でお礼をしなくてはならないと

思いつつ、日々の忙しさにまかしていたところ、たまたまB4Sを知りお手伝いする事を決めました。

子どもはこの国の未来です。社会として大切にしなければいけない存在ですし、子どもが未来に希望を持ってなければ明るい未来は存在しません。私たち大人が、一人でも多くの子どもに、安心して過ごせる環境を作るためには何ができるかを真剣に考える必要があります。一人ひとりや一社でできる事はたかが知れていますが、それをまとめて大きな力にする存在としてB4Sがあり、その活動を引き続き応援していければ幸いです。



つながり続ける B4Sの自立支援プログラム

中学生・高校生に向けたプログラム

- 巣立ちプロジェクト 高校3年生のためのひとり暮らし準備セミナー
- ひとり暮らしハンドブック ひとり暮らしに必要な情報がまとまった1冊
- 出張セミナー 施設に向かいに行く体験型セミナー
- ジョブプラクティス 気軽に参加できる1日職業体験
- 就労体験インターンシップ 仕事体験で成長と職業観を育む

退所者に向けたプログラム

- アトモプロジェクト 退所後もつながって孤立を防ぐ
- 自立ナビゲーション 退所後のマンツーマンサポート
- 職業紹介 少し働いてみてから応募を検討する就労支援プログラム
- よこはまPort For 入所中も退所後も、気軽に立ち寄れる居場所
- さが・こんね 佐賀県初の居場所事業
- スマイリングプロジェクト 退所者へ住宅支援

啓発プログラム

- コエール 親を頼れない経験を若者たちが語るスピーチイベント

B4S事務局だより

入社して間もなく丸6年、当初からずっと施設職員さんとの窓口役を担当しています。月日の経過に伴って職員さんたちとのコミュニケーションはだんだんと濃くなり、頭の下がる思いが深くなっています。私たちの活動において『在り方』はキーワードですが、関わらせてもらっている中高生や退所者だけでなく、職員さんたちからも、人としての在り方を学ばせてもらう日々です。



網谷勇氣 (あみや ゆうき)

制作スタッフ：石橋正洋 粕谷知美 渡辺稲子
表紙撮影：芥川寛 中井幹雄 山村隆彦
デザイン：ナミエミツツ



INTERVIEW

施設を巣立った 私から



大谷みさきさん
(おたに みさき)
2015年児童養護施設退所
職業：会社員
趣味：テレビドラマ鑑賞
笑顔のもと：家族との時間
最近夢中になっていること：子どもの成長



やさしくてしっかり 理想の”お母さん”に なりたい

共働きで2人の女の子を育て、忙しいながらも充実した日々を過ごしている大谷さん。長女出産のときに頼ったのがブリッジフォースマイル(B4S)で知り合ったボランティアだったそうです。取材中も元氣いっぱいの子どものたちの面倒を仕事帰りの旦那さまに見ていただきつつ、お話を聞きました。

働きながら 2児の子育て 夫のサポートに感謝

B4Sには「巣立ちプロジェクト」エクスト「自立ナビゲーション」『よこはまPortFor』などでお世話になりました。なかでも印象的なのは、一人目の子どもが生まれるときのことです。妊娠中に精神が不安定になり、産後もよく眠れなくて、泣いてばかりいました。その頃、自立ナビゲーションで私の担当だったボランティアの方に病院にまで

来てもらってじっくり話を聞いていただき、とても気が楽になったのを覚えています。本当に感謝しています。

今は、材木店で事務の仕事しながら、3歳と9カ月の女の子を育てています。子どもは、ふと気づくと前日に来なかつたことが出来るようになっていて、毎日、ものすごいスピードで成長しているんだと感じます。子どもの成長が今の一番の楽しみです。

2人目が生まれた頃からは、自分の考え方が変わってきました。「これをやらなくちゃいけない」というような気がなくなってきたり、子育てが楽になってきたよう

に思います。私も大人になりましたね。

いつも仕事が忙しい中で支えてくれる、夫のサポートも大きいです。普段、あまり施設の話はしませんが、夫も施設の出身なので、私のことをよくわかってくれていると思います。

理想のお母さんは、 お世話になった職員さん

私にとって両親は「いない」存在です。母親とは連絡が取れませんが、父親は写真で一度見たことがあるのですが、どんな顔だったのかも覚えていません。私は6人きょうだいのですが、姉2人は祖父母の家で、私を含めて下の4人は施設で別々に暮らしていました。

だから私にとっての「お母さん」のイメージは、時々施設に子どもを連れてきていた職員さんたちです。特に、ある心理士さんはやさしくてしっかりしていて、本当によく人の話を聞いてくれる方で、すごく尊敬しています。



FROM VOLUNTEERS

ボランティアメンバーから



川尻未来さん
(かわしり みく)
職業：会計事務所の職員
趣味：旅行、テニス、猫
笑顔のもと：いろんな人との出会い
最近夢中になっていること：B4Sでの活動
(or 旅行でリフレッシュ)

B4Sには年齢や経歴に関係なく、約500人のボランティアがいます。「ミシェル」こと川尻未来さんは巣立ちプロジェクト、自立ナビゲーション、アトモプロジェクトなどで活躍中。太陽のような笑顔で、いつも現場をエネルギーいっぱいしてくれます。

多くの出会いで 子どもたちに 気づきや学びがあれば♪

「子どもに関わることがしたい」と小学校教諭と保育士の免許を持っているものの仕事は畑違い。そんなときにB4Sを知り、月数回なら自分のペースで参加できそう、新たな挑戦をしてみようと3年前からボランティアを始めました。社会的養護の子どもたちと一緒に過ごしたことがなく最初は不安でしたが、事前研修やセミナーの充実さ、事務局やボランティアの仲間の支え、何より子どもたちとの時間のおかげで、楽しく充実した活動をしています♪ ボランティア

アというより自分が楽しんでいるというのが正直なところ(笑)。子どもたちには「多くの出会いを経験」してもらいたいと思っています！色々な人がいて、それぞれの価値観や人生があるのだな～と触れてもらえたら、そこから気づきや学びがあったら素敵だな。B4Sには様々なプロジェクトがあるので、子どもたちが学生の間も社会人になった後も、これから先も笑顔でつながっていきなと思っています！

子どもの成長と一緒に 感じていく嬉しさ

東京都石神井学園は、練馬区にある緑豊かな学園です。私は4つの寮の総括として、子どもと関わりつつも、自立支援委員会など委員会の企画運営も同時に行っています。石神井学園に入職して14年目になりますが、色々な子どもたちと出会ってきました。どの年齢であっても、超えなければいけない壁(生育歴、親との関係、進路など)は高いと思っています。それでも、子どもたちは一生懸命がんばっています。自分に何が出来るのかと自問自答することが多いですが、何気ない日々の会話ややり

とりを大切に、子どもが少しでも前向きになれるよう、支えになればとの思いで働いています。退所した子どもたちが学園に顔を出してくれることもあり、思い出話を聞きつつ、元氣な姿を見るととても励まされます。B4Sの方々には、出張セミナーを始め様々な場面でお世話になっており、セミナーなどへ参加する子どもが年々増えています。何よりもB4Sの方と「〇〇さんがもう高校3年生になったんだね」など、子どもの成長と一緒に感じていく事に嬉しさを感じています。

FROM CHILDREN'S HOME

児童養護施設の職員から



河村和繁さん
(かわむら かずしげ)
東京都石神井学園
職業：児童養護施設職員
趣味：舞台、ライブ鑑賞
笑顔のもと：ライブを見に行く
最近夢中になっていること：プールで泳ぐこと

子どもと関わるだけでなく自立支援スタッフとしても積極的な河村さん。率先してB4Sのプログラムを使ってくださり、時には新しい試みをご提案いただく事も。お話しするたびに、B4Sの必要性を感じてくださっているのが伝わってきます。